

薬食総発 1128 第 1 号
薬食安発 1128 第 1 号
平成 25 年 11 月 28 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 薬務主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬食品局安全対策課長
(公 印 省 略)

「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 24 年年報」の周知について

医薬行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業は、公益財団法人日本医療機能評価機構による厚生労働省補助事業であり、平成 21 年 4 月より、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例等を収集、分析し提供しています。この事業は、医療安全対策に有用な情報について、薬局間で広く共有するとともに、国民に対して情報を提供し、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施されています。

この度、同機構より、平成 24 年 1 月から 12 月までに報告されたヒヤリ・ハット事例を収集し分析を行った「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 24 年年報」が公表されました。この年報は、同機構から各都道府県知事、各保健所設置市及び各特別区長宛に送付されており、同機構のホームページにも掲載されています (<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止のために内容を確認の上、貴管下薬局の他、貴管内の医療機関及び関係団体に対して周知方お願いいたします。

【留意事項】

本通知の内容については、貴管下医療機関の医療安全に係る安全管理のための委員会の関係者、医療安全管理者、医薬品の安全使用のための責任者等及び貴管下の薬局の管理者、医薬品の安全使用のための責任者等に対しても、周知されるように御配慮願います。

【参考】

本通知を含め、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された際に、その情報をメールによって配信する「医薬品医療機器情報配信サービス（PMDA メディナビ）」が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構において運営されています。以下の URL から登録できますので、御活用ください。

医薬品医療機器情報配信サービス（PMDA メディナビ）
<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

名称類似に関するヒヤリ・ハット

～再び報告された薬効が異なる名称類似医薬品～

ヒヤリ・ハット事例のうち、事例の内容が「薬剤取違い」であった事例が1,005件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日)

このうち、名称類似[※]に関する事例259件の中で、平成23年に引き続き再び報告された、薬効が異なる医薬品の組み合わせを下表に示します。

注：「名称類似」とは取違えた医薬品の販売名の頭文字が、文字として2文字のみ一致、または3文字以上一致する医薬品を示します。

医薬品の組み合わせ (販売名、及びその薬効等)

ガスモチン錠 5mg

【薬効】 その他の消化器官用薬、他に分類されない消化器官用薬

ガスコン錠 40mg

【薬効】 止しゃ剤、整腸剤、ジメチコン製剤

ムコダイン DS50%

【薬効】 去たん剤、システイン系製剤

ムコサールドライシロップ 1.5%

【薬効】 去たん剤、その他の去たん剤

ムコダイン

【薬効】 去たん剤、システイン系製剤

ムコスタ

【薬効】 消化性潰瘍用剤、その他の消化性潰瘍用剤

リンデロン-VG軟膏 0.12%

【薬効】 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤、抗生物質及び副腎皮質ホルモン混合製剤

リンデロン-V軟膏 0.12%

【薬効】 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤、副腎皮質ホルモン製剤

リボスチン点眼液 0.025%

【薬効】 眼科用剤、その他の眼科用剤

リボスチン点鼻液 0.025mg/112噴霧用

【薬効】 耳鼻科用剤、その他の耳鼻科用剤

インタール点眼液 2%

【薬効】 眼科用剤、その他の眼科用剤

インタール点鼻液 2%

【薬効】 耳鼻科用剤、その他の耳鼻科用剤

マイスリー錠

【薬効】 催眠鎮静剤、抗不安剤、その他の催眠鎮静剤、抗不安剤

マイスタン錠

【薬効】 抗てんかん剤、その他の抗てんかん剤

タリビッド耳科用液 0.3%

【薬効】 耳鼻科用剤、その他の耳鼻科用剤

タリビッド点眼液 0.3%

【薬効】 眼科用剤、その他の眼科用剤

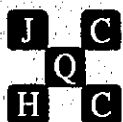
ドグマチール錠 100mg

【薬効】 精神神経用剤、その他の精神神経用剤

ドグマチール錠 50mg

【薬効】 消化性潰瘍用剤、その他の消化性潰瘍用剤

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P113図表1-8を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

薬効類似に関するヒヤリ・ハット

～再び報告された薬効類似医薬品～

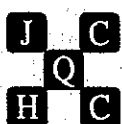
ヒヤリ・ハット事例のうち、事例の内容が「薬剤取違い」であった事例が1,005件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日)

このうち、薬効類似[※]に関する事例236件の中で、平成23年に引き続き再び報告された医薬品の組み合わせのうち報告回数が多かったものを下表に示します。

注：「薬効類似」とは、販売名として報告された「処方された医薬品」と「間違えた医薬品」の個別医薬品コードの先頭4桁から6桁が一致する医薬品を示します。

薬効等	医薬品の組み合わせ		備考 <small>(併用・類似の医薬品)</small>
血圧降下剤	ミコンビ配合錠A P	ミカムロ配合錠A P	
鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	スミルスチック3%	スチックゼノールA	
血圧降下剤	ミカルディス錠40mg	ディオバン錠40mg	○
血圧降下剤	エカード配合錠HD	ユニシア配合錠HD	
鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	モーラステープL 40mg	ロキソニンテープ100mg	
その他の眼科用薬	エイゾプト懸濁性点眼液1%	コゾプト配合点眼液	
漢方製剤	ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用)	ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒(医療用)	
その他の眼科用薬	トラバタンズ点眼液0.004%	デュオトラバ配合点眼液	
その他の呼吸器官用薬	フルタイド100ディスカス	アドエア100ディスカス60吸入用	
鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	オイラックスHクリーム	オイラックスクリーム10%	
その他の血液・体液用薬	バファリン配合錠A 81	バイアスピリン錠100mg	
漢方製剤	ツムラ小青竜湯エキス顆粒(医療用)	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒(医療用)	○

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P144図表2-8を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari-jcqh.or.jp/>

ハイリスク薬に関するヒヤリ・ハット

～報告回数が多かったハイリスク薬～

ヒヤリ・ハット事例のうち、安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）が1,161回報告されています。

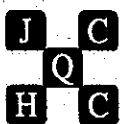
このうち、調剤に関する事例の医薬品は1,024回、疑義照会に関する事例の医薬品は137回報告されています。（集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日）

ハイリスク薬のうち報告回数が多かった販売名及び治療領域は下表の通りです。

調剤		疑義照会	
販売名	治療領域	販売名	治療領域
ワーファリン錠 1mg	血液凝固阻止剤	ワーファリン錠 1mg	血液凝固阻止剤
デパス錠 0.5mg	精神神経用剤	エクア錠 50mg	糖尿病用剤
プレドニン錠 5mg	免疫抑制剤	アマリール 1 mg 錠	糖尿病用剤
メトグルコ錠 250mg	糖尿病用剤	ノボラピッド 30 ミックス 注フレックスペン	膵臓ホルモン剤
アマリール 1mg 錠	糖尿病用剤	アルマール錠 10	不整脈用剤
メインテート錠 2.5mg	不整脈用剤	ジャヌビア錠 50mg	糖尿病用剤
ジャヌビア錠 50mg	糖尿病用剤	セロクエル 25mg 錠	精神神経用剤
プレドニゾン錠 5mg (旭化成)	免疫抑制剤	プレドニゾン錠 1mg (旭化成)	免疫抑制剤
ベイスンOD錠 0.3	糖尿病用剤	プレドニン錠 5mg	免疫抑制剤
プレドニゾン錠 1mg (旭化成)	免疫抑制剤	ユーエフティ 配合カプセル T 100	抗悪性腫瘍剤
ネシーナ錠 25mg	糖尿病用剤	リーゼ錠 5mg	精神神経用剤

注) 外用剤を除く。外用剤のうち、報告回数が多かったものは、血液凝固阻止剤のヒルドイドソフト軟膏0.3%とヒルドイドローション0.3%である。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 162 図表3-5、P 169 図表3-10を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

疑義照会に関するヒヤリ・ハット（用法変更、用量変更）

～疑義があると判断する契機となった情報～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「疑義照会」に関する事例が730件報告され、このうち、変更内容が「用法変更」であった事例は67件、「用量変更」であった事例は33件報告されています。（集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日）

このうち、「疑義があると判断した理由」の項目で「当該処方せんと薬局で管理している情報で判断」または「上記以外で判断」が選択されていた事例で報告された「疑義があると判断する契機となった情報」の内容は、下表の通りです。

用法変更

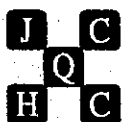
疑義があると判断する契機となった情報	件数
通常とは異なる用法などを含む処方内容	9
患者が理解している用法と処方内容との相違	4
併用薬	4
薬局で管理している情報と処方内容との相違	3
患者の疾患	2
コンプライアンス	1
処方内容	1
副作用歴	1
合 計	25

用量変更

疑義があると判断する契機となった情報	件数
受診状況	3
残薬	3
処方日数制限	3
通常とは異なる用量などを含む処方内容	2
お薬手帳の内容と処方内容との相違	2
同時処方薬の処方日数	2
患者との会話	1
合 計	16

注) 「疑義があると判断する契機となった情報」がわかる事例から情報を抽出している。また複数の「疑義があると判断する契機となった情報」に計上される事例がある。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 200 図表4-I-7、P 212 図表4-I-10を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

疑義照会に関するヒヤリ・ハット

～疑義照会はしていないが処方内容を確認した事例～

ヒヤリ・ハット事例のうち、疑義照会はしていないが処方内容を確認した事例が146件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日)

疑義照会をせずに医薬品を交付したため、患者に軽微な治療を要した主なヒヤリ・ハット事例を以下に示します。

医薬品のアレルギー歴を見逃し、患者に交付した事例

(事例の内容)

以前処方歴があったことで、「サワシリン等でかゆみ」の電子薬歴記載とおくすり手帳のアレルギー歴のサワシリン記載を見逃し、サワシリンを7日分投薬した。10日後蕁麻疹が出たと受診、アタラックスPが処方となった。

(背景・要因)

定期薬が18種類ある方で、そちらの確認が重点的になってしまい、前に出ている薬ということで、アレルギー歴を十分確認せずに投薬したという確認不足が一番ではあるが、電子薬歴記載のルールが統一されていないことや、新患以外の、定期的はずっとかかっているような患者さんの使い込んでいるような手帳を前の方から確認ということはあまり行われていなかった。

(改善策)

1. 薬剤アレルギーの対象薬は、電子薬歴を開いた時にポップアップをして必ず目に入るようにする。
2. 電子薬歴のアレルギー歴記載部分の該当薬がある場合は目立つように上の方に記載するようにする。
3. 普段よく来ている患者でも定期的に手帳の副作用・アレルギー歴を確認する。

(関連医薬品)

サワシリン

一般名処方で、医師の意図した医薬品とは異なる医薬品を交付した事例

(事例の内容)

処方せんにはアズレンスルホン酸ナトリウム・Lグルタミン配合剤細粒4g 4×4日分と記されていて同時にロキソプロフェンNa錠60mg 2錠2×食後5日分の処方が出ていたため当事者である薬剤師はマーズレンS配合顆粒が処方されていると思い込んだ。しかし、投薬後薬剤師が再確認したところマーズレンS配合顆粒の用法用量がおかしいことに気づき、病院に確認した。すると実際病院が処方したかった薬は、アズレンスルホン酸ナトリウム水和物であり、そこで間違いが発覚した。直ちに患者さんに連絡をとり、患者さんからマーズレンS配合顆粒を回収し、本来処方されるはずであった薬を交換した。

(背景・要因)

記載なし

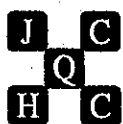
(改善策)

薬剤師は投薬前に薬のみではなく、用法用量の確認まできちんと行うよう心がける。

(関連医薬品)

マーズレンS配合顆粒、アズノールうがい液4%

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 221、236、237



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

「共有すべき事例」の再発・類似事例に関するヒヤリ・ハット事例

ヒヤリ・ハット事例の「共有すべき事例の再発・類似事例」のうち、「複数規格について知識不足のため規格・剤形間違いを生じた事例」、「製剤量・原薬量に関する事例」、「お薬手帳から薬効の重複（同一医薬品を含む）が判明した事例」を取り上げています。（集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日）

主な再発・類似事例（繰り返し報告されている事例）を以下に示します。

新人薬剤師にワーファリンの規格の知識がなく、誤った規格を調剤・交付した事例

（事例の内容）

1. 思い込みで、ワーファリン 0.5mg のところを 1 mg で取りそろえてしまった。
2. 鑑査で規格の確認をせずにお渡ししてしまった。
3. 2週間後、視野異常、両足の皮下出血を訴えクリニックへ来院。規格ミスが発覚

（背景・要因）

1. 1 mg が良く出る処方方で上段の棚に入れてあり、0.5mg はあまり出ない為引き出しに入れたあった為、思い込みで取りそろえてしまった。
2. 鑑査した薬剤師は配属7日目の新人薬剤師であり、ワーファリンに規格違いがある事を知らなかった。また、鑑査での注意事項をきちんと教育されていなかった。

（改善策）

1. 0.5mg と 1 mg を同じ引き出しに並べて入れ、ふたをするような形で 0.5mg に黄色、1 mg にピンクの札を取り付けた。
2. 鑑査の際気をつけるべき事を再度教育。ハイリスク薬の取り扱いについて、事務職員も含め再度見直した。

（処方された医薬品） ワーファリン錠 0.5mg

（間違えた医薬品） ワーファリン錠 1 mg

セロクエルが「錠」であることが記載されず、「細粒」のため、誤りを出したところ、原薬の調剤量であった事が判明した事例

（事例の内容）

前回、セロクエル 25mg 錠が 2 錠、眠前で処方されていた。今回、セロクエル細粒 50% が 60mg、眠前で処方されていたが、患者との話しの中で、「先生は薬を減らすと言っていた。」とコメントがあった。病院に問い合わせたところ、「60mg の 50% だから 30mg ではないのか？」と医師から質問があった。製剤の%に関わらず、服用量を力価で記載していただいたらよい旨を伝え、処方量が 30mg の処方であることを確認した。

（背景・要因） 記載なし

（改善策） 記載なし

（処方された医薬品） セロクエル細粒 50%

今回処方された医薬品と同一製剤の医薬品が別の医師の間から処方されたという事実が発覚し、併用薬が発覚した事例

（事例の内容）

患者が耳鼻咽喉科を受診した際、ザイザル錠が処方された。当該患者は別の医療機関から、アレロック錠 5 mg とアレグラ錠 60mg が処方されている事をお薬手帳で確認したため、疑義照会したところ、ザイザル錠が処方削除となった。患者に、お薬手帳は医院でも提出して頂き、有効活用していくために、声かけを行っていく。

（背景・要因）

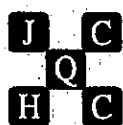
患者は医院ではお薬手帳を提出していなかった事により、医師は重複に気付かなかった。又、その他の方法でも併用薬を伝えていなかったのではないかと考えられる。

（改善策）

患者に、お薬手帳は医院でも提出して頂き、有効活用していくために、声かけを行っていく。

（処方された医薬品） ザイザル錠 5 mg

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 255、256、262



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari-jcqh.or.jp/>

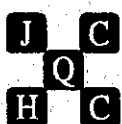
一般名処方に関するヒヤリ・ハット

～一般名の名称類似が取違えの要因として考えられる組み合わせ～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「一般名処方」に関する事例が229件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日)異なる成分の一般名の医薬品を取違えた調剤の事例のうち、一般名の名称類似が取違えの要因として考えられる組み合わせを以下に示します。

一般名	主な薬効	一般名	主な薬効
【般】アロチノール塩酸塩錠 5mg (ハイリスク薬)	不整脈用剤	【般】アロプリノール錠 100mg	痛風治療剤
【般】一硝酸イソソルビド錠 20mg	血管拡張剤	【般】硝酸イソソルビド徐放錠 20mg	血管拡張剤
【般】アトルバスタチン錠 10mg	高脂血症用剤	【般】プラバスタチン Na 錠 10mg	高脂血症用剤
【般】ラニチジン錠 75mg	消化性潰瘍用剤	【般】ニザチジン錠 75mg	消化性潰瘍用剤
【般】ラベプラゾール Na 錠 10mg	消化性潰瘍用剤	【般】ランソプラゾール口腔内崩壊錠 15mg	消化性潰瘍用剤
【般】クロベタゾン酪酸エステル軟膏 0.05%	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	【般】クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏 0.05%	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
【般】ジフルプレドナート軟膏 0.05%	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	【般】ジフルコルトロン吉草酸エステル軟膏 0.1%	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
【般】亜鉛華単軟膏 20%	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	【般】亜鉛華軟膏	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
【般】ケトプロフェンテープ 40mg (10×14cm 非温感)	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	【般】フルルピプロフェンパップ 40mg (10×14cm)	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
【般】ケトプロフェンテープ 40mg (10×14cm 非温感)	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	【般】フルルピプロフェンテープ 40mg (10×14cm 非温感)	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤
【般】エバステチン錠 10mg	その他のアレルギー用薬	【般】エピナスチン塩酸塩錠 10mg	その他のアレルギー用薬
【般】セフジニル細粒 10%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフトレンピボキシル細粒 10%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフトレンピボキシル細粒 10%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフカベンピボキシル塩酸塩細粒 10%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフポドキシムプロキセチル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジニルカプセル 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフジニルカプセル 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの
【般】セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	【般】セフトレンピボキシル錠 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P292図表6-12を改変、主な薬効の組み合わせ別に色を分けて示した。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

お薬手帳及び薬剤情報提供書に関するヒヤリ・ハット ～疑義照会に関する事例及び報告された医薬品～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「お薬手帳及び薬剤情報提供書」に関する事例が 221 件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日) 疑義照会に関する事例のうち、ハイリスク薬が報告された事例の変更内容、医薬品、主な薬効を以下に示します。

変更内容	処方された医薬品	主な薬効	薬目になった医薬品	主な薬効
薬剤変更	エクセグラン錠 100mg	抗てんかん剤	(エクセラーゼ配合カプセル) ^注	(健胃消化剤)
	テオドール錠 200mg	気管支拡張剤	テオドール錠 100mg	気管支拡張剤
	ヒダントール F 配合錠	抗てんかん剤	ヒダントール D 配合錠	抗てんかん剤
用法変更	デバス錠 0.5mg	精神神経用剤	——	——
分量変更	アマリール 1 mg 錠	糖尿病用剤	——	——
	テノーミン錠 25	不整脈用剤	——	——
薬剤削除	セレスタミン配合錠	副腎ホルモン剤	——	——
	プラデスミン配合錠	副腎ホルモン剤	——	——
用量変更	ワーファリン錠 1 mg	血液凝固阻止剤	——	——
その他	プレドニゾン錠 5mg 「トーフ」	副腎ホルモン剤	プレドニゾン錠 5mg 「トーフ」	副腎ホルモン剤

注) 「エクセラーゼ配合カプセル」はハイリスク薬には該当しないが参考のために掲載。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 342 図表7-10を改変

お薬手帳を医療機関に提示しなかったことで、医師が医薬品の重複に気付かなかった事例を以下に示します。

事例

(事例の内容)

薬歴より別医療機関(内科)にてアリセプト錠 5 mg/日を服用中であったが、心療内科受診時にアリセプト錠 3 mg が処方された。

医師に併用薬詳細を伝えていないとの事で、処方医に情報提供した所、アリセプト 10mg 錠に変更になり、5 mg 錠の残薬は中止するよう家族に伝えて欲しいとの依頼あり。

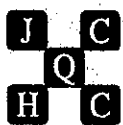
(背景・要因)

患者家族がお薬手帳を示していなかった。

(改善策)

受診時には必ず各医療機関でお薬手帳を示すよう指導した。

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 345



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

血液凝固阻止剤及び抗血小板剤に関するヒヤリ・ハット

～規格・剤形間違いのパターン～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「血液凝固阻止剤及び抗血小板剤」に関する事例が96件報告されています。(集計期間：2012年1月1日～2012年12月31日) 規格・剤形間違いに関する事例の医薬品と規格・剤形間違いのパターンを以下に示します。

医薬品名	規格・剤形間違いのパターン	件数
アンプラーグ錠	「50mg」と「100mg」	1
エパデール	「S600」と「S900」	4
	「カプセル300」と「S300」	1
ソルミラン顆粒状カプセル	「600mg」と「900mg」	1
プラザキサカプセル	「75mg」と「110mg」	1
プラビックス錠	「25mg」と「75mg」	4
プレタールOD錠	「50mg」と「100mg」	2
ワーファリン錠	「0.5mg」と「1mg」	4
	「1mg」と「5mg」	1

※薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成24年年報」P 375 図表8-I-9



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281 (直通) FAX：03-5217-0253 (直通)
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>